

火災予防条例施行規則の一部改正について（避難口等における施錠方法）

改正背景

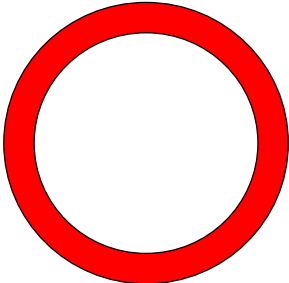
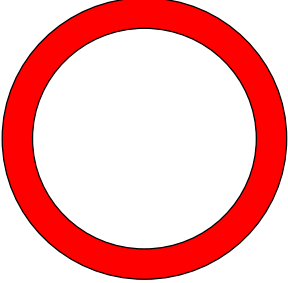
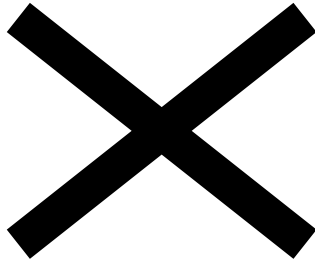
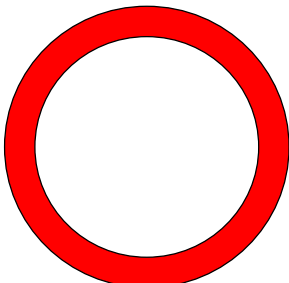
避難口又は地上に通ずる主たる通路に設ける戸に対して、施錠方法は火災予防条例施行規則（以下「規則」という。）で定められている。
 現行規則では自動火災報知設備と連動して解錠される戸を除き、屋外階段に通ずる戸や地階、無窓階の戸は開放動作で解錠し、かつ、開放できる戸としなければならない。
 今般、第25期火災予防審議会における審議の中で、現在普及している施錠方法を整理し、防火安全性の担保を前提に検討を行い、「屋外階段に通ずる戸等の施錠方法についても、サムターン錠等1の動作で容易に解錠できるものを認めて支障ない」という答申が示されたことを踏まえ、規則を改正する。

改正の概要

施錠方法

⇒屋外階段に通ずる戸等の施錠方法としてサムターン錠等1の動作で容易に解錠できるものを認める。

現行

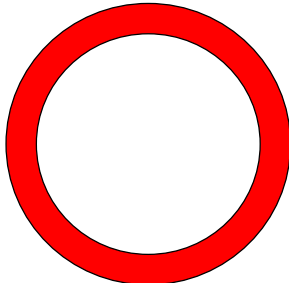
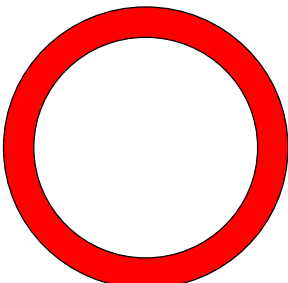
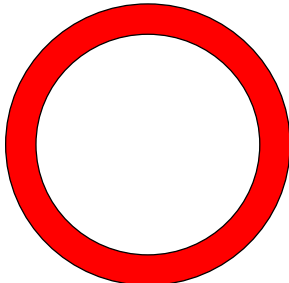
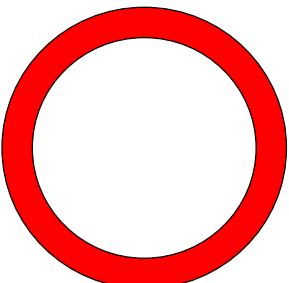
(1) 屋内避難階段・特別避難階段に通ずる戸(地階・無窓階除く)		(2) 屋外階段に通ずる戸・非常の際に避難専用とするために設けた戸 屋内避難階段・特別避難階段に通ずる戸(地階・無窓階の場合)	
屋内から1の動作で容易に解錠	屋内から開放動作で解錠+開放	屋内から1の動作で容易に解錠	屋内から開放動作で解錠+開放
			
サムターン錠等	円筒錠 パニックバー	サムターン錠等	円筒錠 パニックバー



現行どおり



改正後

(1) 屋内避難階段・特別避難階段に通ずる戸(地階・無窓階除く)		(2) 屋外階段に通ずる戸・非常の際に避難専用とするために設けた戸 屋内避難階段・特別避難階段に通ずる戸(地階・無窓階の場合)	
屋内から1の動作で容易に解錠	屋内から開放動作で解錠+開放	屋内から1の動作で容易に解錠	屋内から開放動作で解錠+開放
			
サムターン錠等	円筒錠 パニックバー	サムターン錠等	円筒錠 パニックバー